

相馬郡

在宅医療・介護連携支援センターだより

創刊第4号 令和7年4月

皆様には、平素より相馬郡在宅医療・介護連携支援センターの運営にご理解、ご協力を賜りまして深く感謝申し上げます。お陰様にて、まるっとも開所2年となります。初年度の反省点を生かし広域的に多職種連携が図れるようセンターとしての役割りを果たして参ります。今後とも、変わらぬご指導・ご鞭撻を賜りますようどうぞよろしくお願い申し上げます。

!! ホームページ完成 !!

HP完成 <https://www.so-marutto.jp/> 検索願います!!!

- 主治医・薬剤師と介護支援専門員等の連絡シート ダウンロード可
- 事業所一覧・保険薬局一覧 ○センターだより ○お知らせ・研修会の案内等



相談
支援

～気兼ねなくいつでもご相談ください～

令和6年度 36件

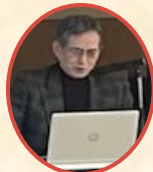
相談内容から地域課題を抽出して参ります

・地域包括支援センター・居宅・近隣病院・クリニック・GH・訪問看護・障がい者施設・行政 等から

第2回まるっと研修会

「在宅医療介護と認知症とその対応について」

～3地域包括支援センターからの対応困難事例をふまえて～



令和7年2月7日(金)かしま交流センター

雲雀ヶ丘病院/相双圏域認知症疾患医療センター副センター長 越智 裕輝 先生

参加者:105名 医師・薬剤師・保健師・看護師・リハビリ・社会福祉士・施設相談員・介護支援相談員・介護職・事務職

内容:1)基調講演 2)困難事例報告 3)GW 4)講師より困難事例の対応及びGWに対してのアドバイス

認知症の発生機序・周辺症状の背景にある合併症や脳血管疾患との関連、画像診断からの症状や障害の把握等、また、認知症の進行を理解と看取り段階の見極め等について学びました。対応困難事例の対応についてGWを通し多職種の皆様で活発な意見交換もなされました。認知症という病気の向き合い方、介護する家族・支援者の苦悩を知り、具体的な対応や地域との連携・情報共有の大切さ等について学びを深める事ができました。多職種の皆様と充実した時間を過ごせました。

地域住民啓蒙活動

○令和7.3.27 新地町包括支援センター・オレンジカフェ

◆出前講座等も承ります。

30名対応



第2回まるっと同職種情報交換・交流会～訪問看護ステーション～ 令和7年2月27日(木)

地域内の訪問看護ステーションの管理者及び代表の方にお集まり頂きました。今回、初めて顔を合わせる方もいまして顔の見える関係が構築できました。各ステーションの特殊性や対応について、また現状課題について報告がありました。県外医療機関からの指示も多く、小児から高齢者の方を対象に、精神疾患も含め、利用者様に寄りそうために、コミュニケーションを密に、そして、チームワークで乗り切って、人的余裕がない状況をカバーされていました。

☆ 地域内給食施設の食事形態・名称の統一を検討 // アンケート調査施行し地域一覧作成予定 ☆

相馬郡在宅医療・介護連携支援センターだより:開所後、あっという間に1年が経過しました。地域の多職種の皆様には、多方面にわたりご支援を頂きまして感謝申し上げます。今後も地域の現状課題を抽出し、まるっとで、少しずつ解決に繋がるよう運営して参ります。新たな課題やご意見・ご要望、また、お問い合わせは、センターまでご連絡をお願い致します。

また、令和7年4月より電話番号が下記の通り変更となりました。

〒975-0002 福島県南相馬市原町区東町1丁目82番地 相馬郡医師会館内 2階

TEL:0244-26-5506(変更後) FAX:0244-23-5352

E-mail:marutto@somagun.org

〔発行・編集〕令和7年 4月発行 相馬郡在宅医療介護連携支援センター「まるっと」

